

ブエノスアイレス市の自転車計画

平成 23 年 5 月 24 日

岩手県立大学総合政策学部

教授 元田良孝

1. はじめに

PIARC (世界道路協会) の技術委員会 (TC2 交通安全) がブエノスアイレスで開催され、この機会にブエノスアイレス市の自転車計画について調査したので報告する。アルゼンチンでは環境を維持できる交通のための法律が 2007 年に成立し、それに基づいて公共交通の整備、BRT (バスラピッドトランジットシステム)、自転車などの振興を進めている。2011 年 5 月現在ブエノスアイレス市内には 60km に達する自転車専用道路が整備され、12 ステーション 400 台のレンタルバイクシステムが稼働している。

アルゼンチンは開発途上国に分類されるが、自転車の振興計画は先進国と比べてそん色がなく、日本よりよほど進んでいる。かなり短い期間の調査であったが、我が国の参考とすべく紹介したい。

2. 調査日程

平成 23 年 5 月 7 日 (土) 成田発 ダラス着 ダラス発
平成 23 年 5 月 8 日 (日) ブエノスアイレス着
平成 23 年 5 月 9 日 (月) PIARC 交通安全セミナー
平成 23 年 5 月 10 日 (火) PIARC 交通安全セミナー
ブエノスアイレス市役所ヒアリング
平成 23 年 5 月 11 日 (水) PIARC 交通安全セミナー
PIARC 技術委員会
平成 23 年 5 月 12 日 (木) PIARC 技術委員会
平成 23 年 5 月 13 日 (金) ブエノスアイレス市内自転車道調査
平成 23 年 5 月 14 日 (土) ブエノスアイレス発
平成 23 年 5 月 15 日 (日) ニューヨーク着 ニューヨーク発
平成 23 年 5 月 16 日 (月) 成田着

3. ブエノスアイレス市ヒアリング

日時：平成 23 年 5 月 10 日 (火) 14 : 30 ~ 15 : 20

場所：パンアメリカカーノホテル地階

Panamericano Buenos Aires Hotel & Resort

Pho.: (+54 11) 4348 5000 / Fax: (+54 11) 4348 5250

C. Pellegrini 551 - Buenos Aires - Argentina.

相手：2 名

Bussi German 技師

ブエノスアイレス自治市政府都市開発省運輸次官室運輸総括管理者最高業務執行責任者

Francisco Jose Ortiz 建築士

ブエノスアイレス自治市政府都市開発省運輸次官室公共貸自転車システムプログラム

当方：元田

4. ブエノスアイレス市自転車計画

(1)ブエノスアイレスの自転車の現況

自転車の交通機関分担は少なく現在1~1.5%であるが、年々増えている。目標は10年以内に5%以上にすることである。市内の自転車の利用は約35,000トリップ/日である。自転車に関連する交通死亡事故は2010年で自転車振興地域の外で5件、地域内で0件である。ヘルメットは法律で着用が義務であるが、あまり守られていない。歩道走行はブエノスアイレスでも問題である。自転車の公共交通機関への持ち込みは、地下鉄、バスはできないが、鉄道では可能である。

(2)自転車計画の経緯

テレルマン前市長時代の2007年に法律ができて、それ以降レンタルバイクの実施を行っている。計画作成には1,2年かかっているのだから、実施に移ったのはそれから後である。法律の趣旨は、環境を維持できる交通の必要性であった。この法律の実現のためにレンタルバイクシステムを作り、そのために自転車道を作るというものである。従って市ではレンタルバイクの他に、BRTや歩行者道路、公共交通の振興なども行っている。(BRTはAv. Juan B. Justoで現在駅等が建設中であるが供用は未定である)

(3)自転車計画の概要

自転車計画は自転車道とレンタルバイクシステムの整備である。その他の振興方法は毎週土曜日を自転車の日にしたり、抽選で自転車が当たるキャンペーンを行ったりしている。

(4)自転車道

現在延長65km以上が完成している。2011年末までに約100kmを完成させる予定である。今考えているのはここまでで、あとは次の政権(2011年に選挙の予定)の意向次第である。自転車道は双方向が基本で、場所により一方向としている。双方向の場合は縁石などで車道と区切るが、一方向の場合は区画線のみである。幅は双方向の場合基本が2.5mで最低2mである(図1、2、3)。

自転車道は交通量が多い通り、大型車が多い通りを避けて非幹線道路に建設されている。またバス路線も避けている。乗り換え地点、大学、学校、病院を結び他の交通機関との連絡も図っている。

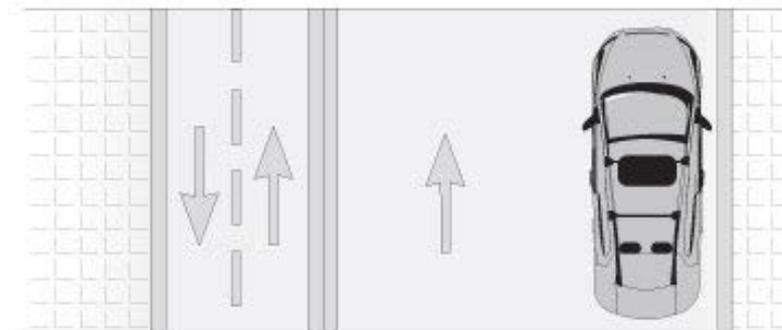


図1 自転車道の標準平面 (<http://www.buenosaires.gob.ar/mejorenbici> より)



図2 自転車道の標準断面 (<http://www.buenosaires.gob.ar/mejorenbici> より)

図中スペイン語訳

Vereda・・・歩道

Doble circulación de bicicletas・・・自転車双方向車線

Separador físico・・・分離

Circulación de vehículos motorizados・・・自動車車線

Estacionamiento・・・駐車



図3 自転車道ネットワーク (<http://www.buenosaires.gob.ar/mejoren bici>)

図中スペイン語訳

Puntos de retiro/devolucion habilitados・・・貸出・返却地点

Referencias・・・凡例

Ciclovias Mano Unica・・・一方向通行自転車道

Red en Obra・・・建設中

Red Proyectada・・・計画中

Bicisendas Preexistentes・・・既存の自転車道

Estaciones Sistema de Transporte Publico en Bicicletas・・・自転車ステーション

Cetros de Tránsito・・・乗り換え地点

(5) レンタルバイク

レンタルバイクシステムは2010年12月からスタートした。名前はPublic Transport on Bikeで、公共交通のとらえ方である。当初は3貸自転車ステーションであったが、現在は12ステーションである。2011年6月までに20ステーションにする予定である。現在約400台が稼働中である。レンタルバイクシステムは当面市営で試行を行っているが、その内にコマーシャルベースに移行する予定である。従って現在利用は無料である。将来は広告もとり、有料とする予定である。本格実施時期は政治的判断を待っているところで未定である。

貸自転車ステーションはバルセロナのような自動ではなく、2人の係員が対応している。パソコンが置かれている。利用には登録が必要である。登録の際は、住所のわかる資料を持ってきてもらう。IDでなくても例えば水道料金の請求書などでもよい。従って住所のない観光客は借りることができない。登録者には4ケタのIDナンバーが付与され、これをステーションに提示することで自転車を借りることができる。登録をすることにより利用者に責任を持たしている。盗難があった場合は責任を負う。登録料は無料で、登録者は現在12,000人である。登録者全員が使っているわけではなく、登録のみの人もいる。

貸し出しは平日と土曜日に行っており、土曜日は平日の約三分の一の利用である。平日は1,300~1,400トリップであり、土曜日は300~400トリップである(図4)。平日は午前8時から午後8時まで、土曜日は午前8時から午後3時までである。日曜日は貸し出しは行わない。自転車は2時間以内にどこかのステーションに返還しなければならない。図4は本年2月から5月までの1週間単位の1日平均利用者の推移を示したものである。3月23日から29日までの期間利用が落ち込んでいるが、祝日が24日(真実と正義の日)、25日(国民祝日)と2日あったためである。貸出ステーション数の推移と貸出自転車数の推移を図5、6に示す。

盗難は今まで12件あった。自転車の問題は質が悪いことである。試行なので予算の限界もあり安い自転車を用意せざるを得なかった。その他ロジスティクスが悪く、自転車のステーション間の移動調整がうまくいっていない。放置しておく特定のステーションに自転車が余ったり不足したりする。メンテナンスもうまくゆかない。しかし市民の評判は良い。予算は他の部署なので不明である。

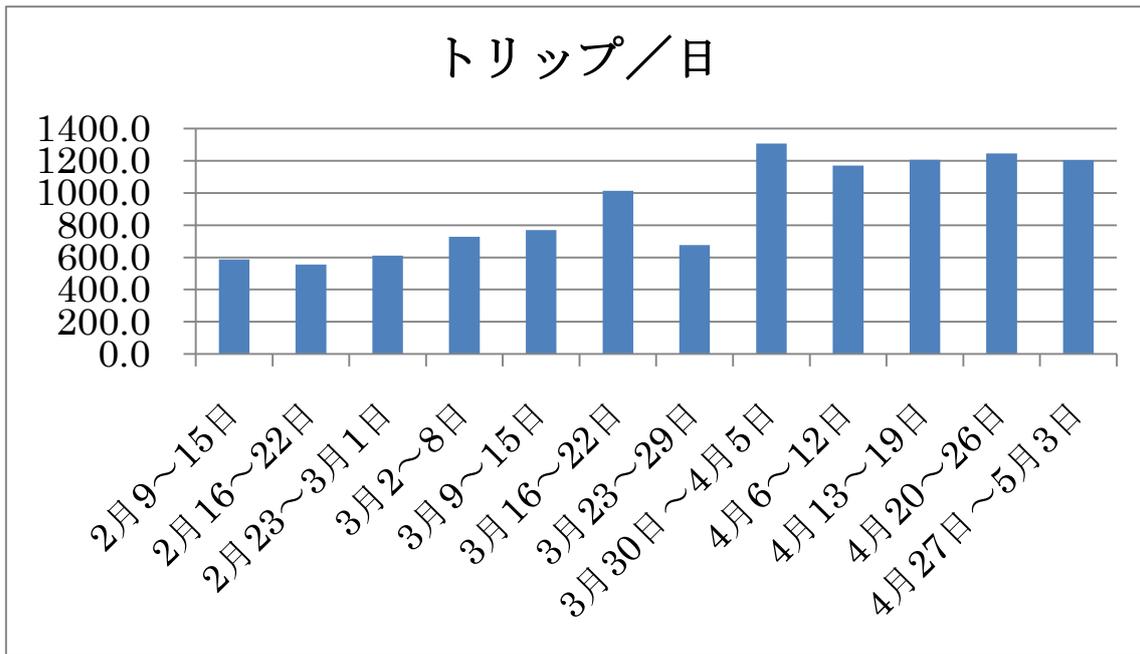


図4 1日平均利用トリップ数の推移

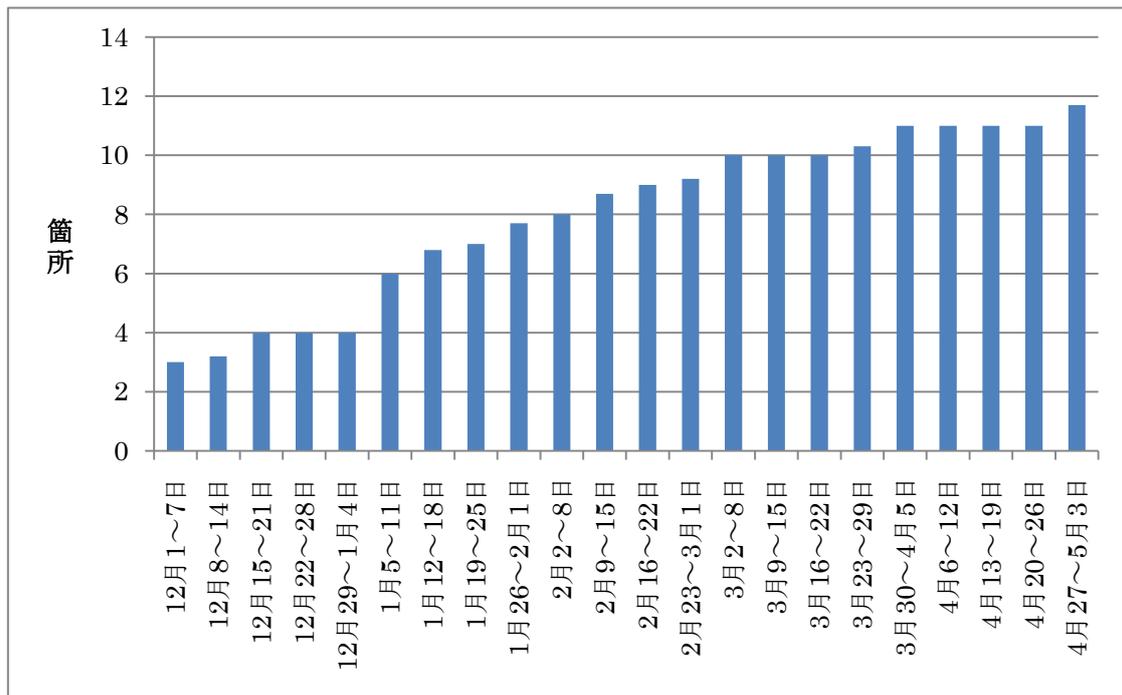


図5 貸出ステーション数の推移

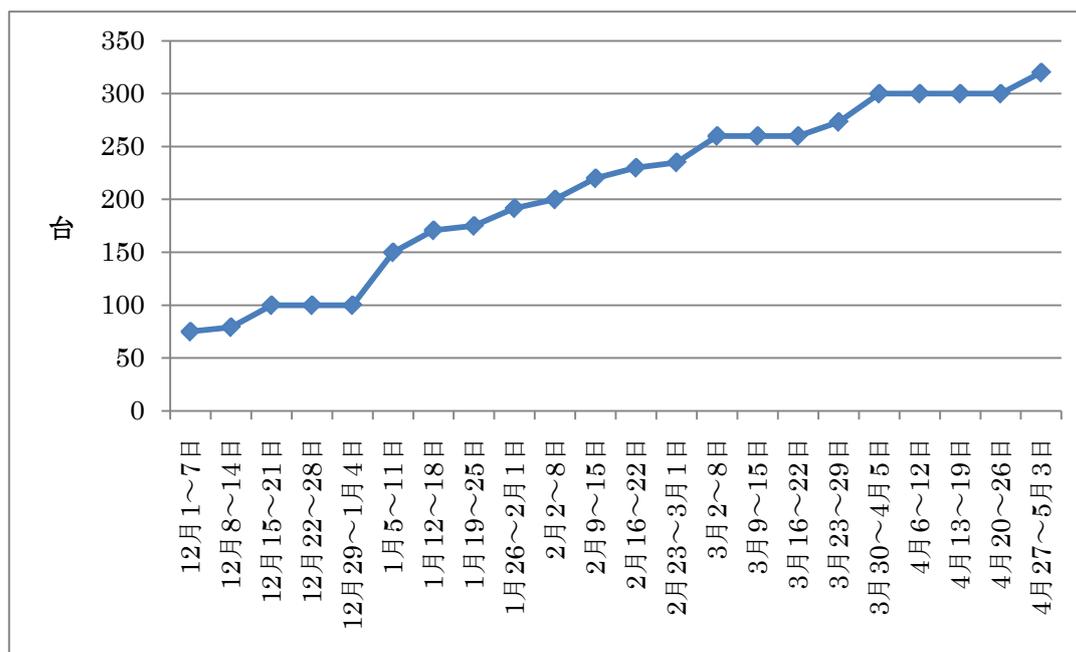


図6 貸出自転者数の推移

5. 自転車道現地調査

セミナー、委員会の合間と13日には民間の貸自転車を利用してブエノスアイレス市内の自転車道の現地調査を行った。行程は以下に示すとおりである（図7）。

平成23年5月14日（金）10：30～16：10（現地時間）

貸自転車*で市内の主に自転車道を走行

走行ルート（全走行行程約20km 図参照）

サン・マルティン広場→Av. del Libertador → La Pampa 通り

→ Av. del Libertador（途中公園内立ち寄る）→ サン・マルティン広場 → Suipacha

→ パンアメリカカーノホテル

パンアメリカカーノホテル → Suipacha → Bartolome Mitre → コロン公園 →

Azopardo → Av. Brasil → Av. Paseo Colon → レサーマ公園 → Irara 通り（パンク）

Irara 通り → レサーマ公園（押し歩き）自転車屋**で修理 → Av. Paseo Colon →

Av. Brasil → Azopardo → コロン公園 → J.D.Peron → Suipacha →

Paraguay → San Martin → 貸自転車屋

*Bike Tours, 910 San Martin Street 6 Tel: 54-11-4311-5199

**MILA Av. Caseros, Defensa 通りの角 Tel:4307-4370



図 7 現地調査行程

赤線が走行軌跡（地図は <http://www.buenosaires.gov.ar/mejoren bici> より）

6. まとめ

ブエノスアイレスでは自転車の利用は少なかったが、政策で振興を図っている。市内は元々平地が多いので自転車の利用には適しているものと思われる。自転車のみの計画ではなく、公共交通など環境を維持する交通（EST）の一環として考えられている。

自転車道の設計基準の詳細を聞く時間はなかったが、交差点部分を緑色に塗る等アメリカの基準に準じたもののようである。自転車道はよく考えられて計画されており、安全性、連続性等見るべきものは多い。自転車関係施設はまだ建設中であり、市内で建設現場もあった。ヨーロッパなど先進国の多くの都市が無人自転車貸し出しステーションで対応しているのに対し、アルゼンチンでは設備投資が少額で済む有人で対応しているのは開発途上国での適切なシステムの選択と考えられる。



図8 車道に併設された自転車道 (Av. del Libertador)



図9 歩道上に設置された自転車道 (Av. del Libertador)



図 10 一方通行の自転車道 (J.D.Peron 通り)



図 11 交差点でのペインティング (Irala 通り)



図 12 1車線で双方向の自転車道 (Av. Martin Garcia)



図 13 歩道上の表示のみによる自転車道 (Av. del Libertador)



図 14 駐輪施設（レコレータ墓地付近）

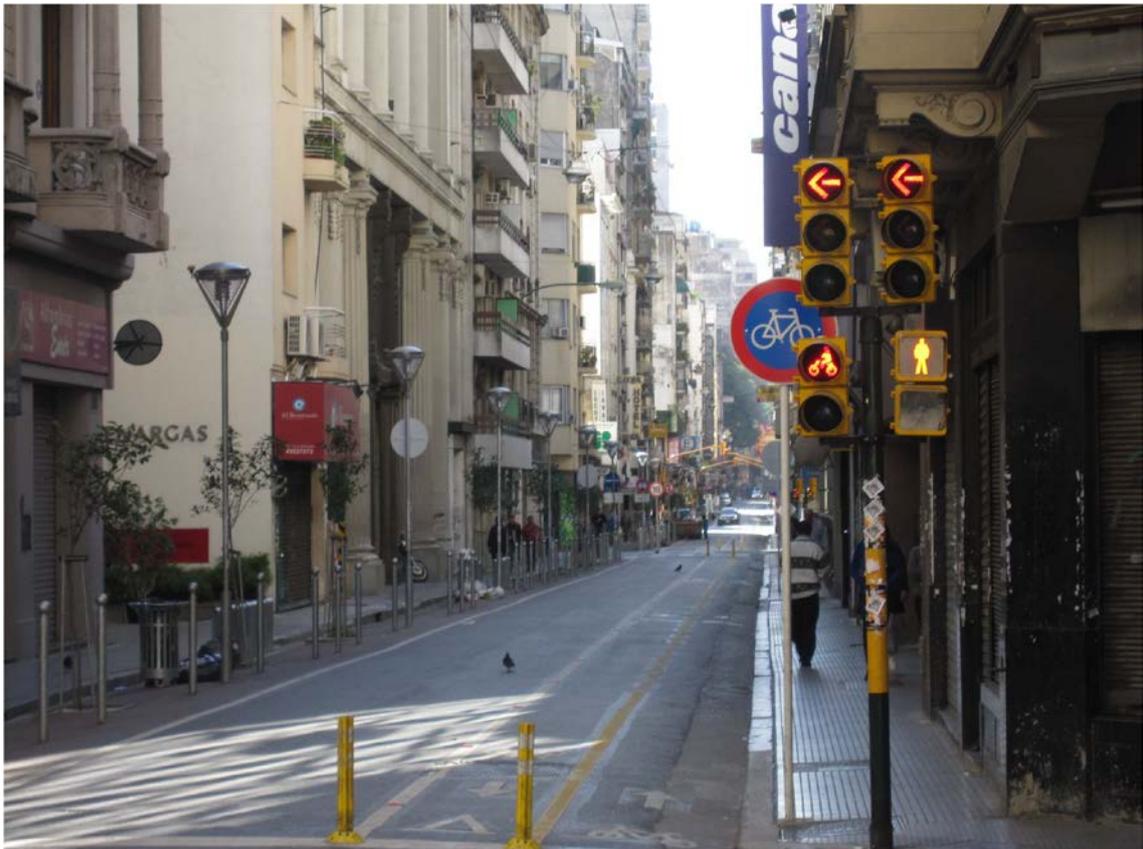


図 15 自転車専用信号（ただし歩行者用信号と同期）（Suipacha 通り）



図 16 自転車道上駐停車禁止の標識 (Irala 通り)



図 17 自転車貸し出しステーション (コロン公園内)



図 18 自転車貸出しステーション内



図 19 自転車マップ (コロン公園)



図 20 レンタルバイク利用者（コロン公園付近）

平成 23 年 5 月 24 日

無断複写転載を禁ずる

連絡先

元田 良孝

〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152-52

岩手県立大学総合政策学部

電話：019-694-2700

FAX：019-694-2701

E-mail：motoda@iwate-pu.ac.jp